



2026年5月14日

各 位

会 社 名 G M S グ ル ー プ 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 C E O 依 田 穂 積
(コード番号 544A 東証プライム)
問 合 せ 先 取 締 役 酒 井 雅 人
(TEL. 03-6254-5772)

上場廃止となった子会社（日精樹脂工業株式会社）に関する決算開示について

当社は、2026年4月1日をもって完全子会社化した日精樹脂工業株式会社に関する「2026年3月期決算短信（2025年4月1日から2026年3月31日まで）」について、別紙のとおりお知らせいたします。

以 上



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月14日

GMSグループ株式会社
 上場会社名（日精樹脂工業株式会社分）
 コード番号 544A URL <https://www.globalmolding-solutions.com>

上場取引所 東

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）依田 穂積

問合せ先責任者（役職名）常務取締役（氏名）今井 昭彦

TEL 0268-82-3000

定時株主総会開催予定日 2026年6月26日

配当支払開始予定日

2026年6月29日

有価証券報告書提出予定日 ー

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	46,774	△1.5	△1,568	ー	△1,441	ー	△1,724	ー
2025年3月期	47,493	0.9	442	△37.3	343	6.9	76	ー

(注) 包括利益 2026年3月期 △256百万円（-%） 2025年3月期 2,745百万円（248.2%）

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	△89.62	ー	△4.2	△1.7	△3.4
2025年3月期	3.98	3.92	0.2	0.4	0.9

(注) 当連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	85,763	40,984	47.5	2,117.28
2025年3月期	86,479	41,896	48.2	2,166.60

(参考) 自己資本 2026年3月期 40,728百万円 2025年3月期 41,677百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	4,634	△2,520	65	9,184
2025年3月期	△3,824	△1,123	3,181	6,750

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	ー	15.00	ー	20.00	35.00	673	879.4	1.7
2026年3月期	ー	16.00	ー	21.00	37.00	711	ー	1.7

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2026年3月期	19,836,345株	2025年3月期	22,272,000株
2026年3月期	600,000株	2025年3月期	3,035,655株
2026年3月期	19,236,345株	2025年3月期	19,186,645株

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	33,861	△3.2	△1,230	—	△905	—	△587	—
2025年3月期	34,970	8.1	366	64.2	699	△18.3	969	5.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	△30.53	—
2025年3月期	50.53	49.66

(注) 当連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2026年3月期	73,957	43.6	32,518	43.6	—	—	1,677.25	
2025年3月期	76,270	43.5	33,425	43.5	—	—	1,726.30	

(参考) 自己資本 2026年3月期 32,264百万円 2025年3月期 33,207百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は2026年3月30日をもって上場廃止となっていることから、連結業績予想については記載しておりません。また、TOYOイノベックス株式会社と共同株式移転の方法により、2026年4月1日付で完全親会社となるGMSグループ株式会社を設立し、同社の完全子会社となっております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界情勢は、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調を維持している一方で、米国の通商政策の影響や中東情勢による資源・エネルギー価格の高騰等先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する射出成形機業界では、円安基調や物価上昇を背景に設備投資に慎重な姿勢が見られるなか、原材料価格やエネルギーコストの上昇も重なり、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは当連結会計年度を初年度とする第五次中期経営計画において「本3カ年は当社グループとお客様をDXで繋ぐ基盤となるプラットフォームを創出する」をテーマに事業を展開いたしました。

当連結会計年度の業績につきましては、売上高は、一部市場で回復の動きが見られ、引合い数は堅調でありましたが、引合いから受注までの期間が長期化する等の設備投資に対する慎重な姿勢が影響したこと等から前期比1.5%減の467億7千4百万円となりました。

利益面におきましては、米国の追加関税負担および円安による原材料価格やエネルギーコストの増加等から営業損失は15億6千8百万円（前年同期実績は営業利益4億4千2百万円）となり、経営統合に係る費用を営業外費用に計上したこと等から経常損失は14億4千1百万円（前年同期実績は経常利益3億4千3百万円）となりました。

これらの結果、親会社株主に帰属する当期純損失は、17億2千4百万円（前年同期実績は親会社株主に帰属する当期純利益7千6百万円）となりました。

セグメントの状況は次のとおりです。

日本

円安の進行および原材料価格やエネルギーコストの上昇により、企業が設備投資に慎重な姿勢だったこと等から売上高（外部顧客への売上高）141億8千4百万円（前期比10.1%減）、セグメント損失は12億1千万円（前年同期実績はセグメント利益3億8千2百万円）となりました。

欧米地域

工業部品および自動車関連分野における需要が回復基調となったこと等から売上高（外部顧客への売上高）190億9千1百万円（前年同期比2.4%増）となりましたが、セグメント損失は6億1千3百万円（前年同期実績はセグメント損失1億8千8百万円）となりました。

アジア地域

自動車や医療分野関連向けで需要があったこと等から売上高（外部顧客への売上高）134億9千7百万円（前年同期比3.3%増）となりましたが、セグメント利益は2億8百万円（同45.2%減）となりました。

【製品別売上高】

主力である射出成形機につきましては、売上高は334億8百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

このほか、周辺機器の売上高は18億5千7百万円（前年同期比15.8%減）、部品の売上高は98億7千2百万円（同7.6%増）、金型等の売上高は、16億3千5百万円（同5.5%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

資産

流動資産は前連結会計年度末に比べて29億1千1百万円減少し、575億7千9百万円となりました。主たる増加要因は、現金及び預金の増加24億3千4百万円および受取手形、売掛金及び契約資産の増加22億1千万円であり、主たる減少要因は、商品及び製品の減少36億9千6百万円および原材料及び貯蔵品の減少24億3千5百万円であります。

また、固定資産は、前連結会計年度末に比べ21億9千4百万円増加し、281億8千3百万円となりました。主たる増加要因は、投資有価証券の増加20億1千1百万円であります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて7億1千6百万円減少し、857億6千3百万円となりました。

負債

流動負債は前連結会計年度末に比べて21億1千5百万円増加し、334億7千7百万円となりました。主たる増加要因は、短期借入金の増加27億1千5百万円であり、主たる減少要因は、支払手形及び買掛金の減少8億1百万円であります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べて19億2千万円減少し、113億円となりました。主たる減少要因は、長期借入金の減少16億6千5百万円であります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億9千4百万円増加し、447億7千8百万円となりました。

純資産

純資産合計は前連結会計年度末に比べて9億1千1百万円減少し、409億8千4千万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、24億3千4百万円増加し、91億8千4百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、46億3千4百万円となりました。キャッシュ・インの主たる要因は、棚卸資産の減少77億2千3百万円であり、キャッシュ・アウトの主たる要因は、仕入債務の減少11億1千万円および売上債権の増加4億9千万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、△25億2千万円となりました。キャッシュ・インの主たる要因は、投資有価証券の売却による収入5千2百万円であり、キャッシュ・アウトの主たる要因は、投資有価証券の取得による支出15億1千9百万円および有形固定資産の取得による支出6億9百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、6千5百万円となりました。キャッシュ・インの主たる要因は、短期借入金の純増額25億6千5百万円および長期借入金の借入による収入15億円であり、キャッシュ・アウトの主たる要因は、長期借入金の返済による支出31億7千万円であります。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

①利益配分に関する基本方針

株主に対する利益還元については、経営上の重要課題と位置づけ、安定配当の継続を最優先に総合的に勘案して決定しております。また、内部留保資金は、事業の発展に不可欠な研究開発および生産設備の増強等、事業基盤の整備に対して充当していくことを予定しております。

②当期・次期の配当

当連結会計年度は、1株につき21円（支払開始予定日 2026年6月29日）といたします。これにより中間配当金1株につき16円を加えた当連結会計年度の年間配当金は1株につき37円となります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは国内株主、債権者、取引先等ではありますが、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性を念頭に、今後の外国人株主比率の推移および国内他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討をすすめていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,750	9,184
受取手形、売掛金及び契約資産	7,062	9,273
電子記録債権	1,201	757
商品及び製品	23,350	19,653
仕掛品	6,506	6,270
原材料及び貯蔵品	11,657	9,221
未収入金	2,900	2,554
未収還付法人税等	182	501
その他	1,183	499
貸倒引当金	△303	△336
流動資産合計	60,491	57,579
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,126	18,516
減価償却累計額	△9,985	△10,506
建物及び構築物(純額)	8,140	8,009
機械装置及び運搬具	9,364	10,594
減価償却累計額	△6,059	△6,630
機械装置及び運搬具(純額)	3,305	3,963
工具、器具及び備品	4,620	4,629
減価償却累計額	△4,371	△4,410
工具、器具及び備品(純額)	249	218
土地	4,909	4,961
リース資産	1,066	1,266
減価償却累計額	△581	△791
リース資産(純額)	484	475
建設仮勘定	3,446	2,842
有形固定資産合計	20,536	20,471
無形固定資産		
リース資産	3	6
その他	448	425
無形固定資産合計	452	432
投資その他の資産		
投資有価証券	2,181	4,193
繰延税金資産	2,181	2,188
退職給付に係る資産	31	28
その他	606	869
貸倒引当金	△1	△0
投資その他の資産合計	4,999	7,279
固定資産合計	25,988	28,183
資産合計	86,479	85,763

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,026	6,224
短期借入金	17,166	19,882
1年内返済予定の長期借入金	2,936	2,911
リース債務	196	181
未払法人税等	229	113
賞与引当金	100	92
製品保証引当金	112	91
その他	3,593	3,979
流動負債合計	31,362	33,477
固定負債		
長期借入金	9,885	8,219
リース債務	334	340
繰延税金負債	23	110
退職給付に係る負債	2,820	2,489
長期未払金	95	95
その他	62	46
固定負債合計	13,220	11,300
負債合計	44,583	44,778
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,362	5,362
資本剰余金	5,325	5,157
利益剰余金	25,810	22,033
自己株式	△1,906	△376
株主資本合計	34,593	32,176
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	779	1,116
為替換算調整勘定	6,336	7,366
退職給付に係る調整累計額	△32	69
その他の包括利益累計額合計	7,084	8,552
新株予約権	217	254
非支配株主持分	1	1
純資産合計	41,896	40,984
負債純資産合計	86,479	85,763

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	47,493	46,774
売上原価	33,843	35,175
売上総利益	13,650	11,599
販売費及び一般管理費	13,208	13,167
営業利益又は営業損失(△)	442	△1,568
営業外収益		
受取利息	51	85
受取配当金	154	112
為替差益	—	294
仕入割引	21	11
受取賃貸料	27	29
受取手数料	16	17
売電収入	22	22
助成金収入	69	68
その他	165	211
営業外収益合計	529	853
営業外費用		
支払利息	262	279
為替差損	337	—
支払手数料	—	428
売電費用	6	6
その他	22	12
営業外費用合計	628	726
経常利益又は経常損失(△)	343	△1,441
特別利益		
投資有価証券売却益	436	47
特別利益合計	436	47
特別損失		
特別退職金	516	—
特別損失合計	516	—
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	263	△1,394
法人税、住民税及び事業税	545	393
法人税等調整額	△358	△63
法人税等合計	187	329
当期純利益又は当期純損失(△)	76	△1,724
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	76	△1,724

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	76	△1,724
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△286	336
為替換算調整勘定	2,978	1,029
退職給付に係る調整額	△22	101
その他の包括利益合計	2,669	1,467
包括利益	2,745	△256
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,745	△256
非支配株主に係る包括利益	△0	△0

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,362	5,307	26,403	△2,030	35,043
当期変動額					
剰余金の配当			△669		△669
親会社株主に帰属する当期純利益			76		76
自己株式の処分		17		124	142
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	17	△592	124	△450
当期末残高	5,362	5,325	25,810	△1,906	34,593

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	1,066	3,358	△9	4,414	330	1	39,789
当期変動額							
剰余金の配当							△669
親会社株主に帰属する当期純利益							76
自己株式の処分							142
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△286	2,978	△22	2,669	△112	0	2,557
当期変動額合計	△286	2,978	△22	2,669	△112	0	2,106
当期末残高	779	6,336	△32	7,084	217	1	41,896

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,362	5,325	25,810	△1,906	34,593
当期変動額					
剰余金の配当			△692		△692
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△1,724		△1,724
自己株式の消却		△1,529		1,529	—
利益剰余金から資本剰余金への振替		1,360	△1,360		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△168	△3,776	1,529	△2,416
当期末残高	5,362	5,157	22,033	△376	32,176

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	779	6,336	△32	7,084	217	1	41,896
当期変動額							
剰余金の配当							△692
親会社株主に帰属する当期純損失(△)							△1,724
自己株式の消却							—
利益剰余金から資本剰余金への振替							—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	336	1,029	101	1,467	36	0	1,504
当期変動額合計	336	1,029	101	1,467	36	0	△911
当期末残高	1,116	7,366	69	8,552	254	1	40,984

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	263	△1,394
減価償却費	1,802	1,733
特別退職金	516	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△436	△47
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	4
賞与引当金の増減額(△は減少)	2	△7
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△164	△204
受取利息及び受取配当金	△206	△198
支払利息	262	279
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△1,604	△490
棚卸資産の増減額(△は増加)	△829	7,723
未収消費税等の増減額(△は増加)	182	241
未収入金の増減額(△は増加)	△376	△378
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,891	△1,110
未払金の増減額(△は減少)	△321	14
その他	△759	△935
小計	△3,561	5,229
利息及び配当金の受取額	230	187
利息の支払額	△272	△282
助成金の受取額	65	55
法人税等の支払額	△286	△555
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,824	4,634
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	493	52
有形固定資産の取得による支出	△1,268	△609
無形固定資産の取得による支出	△348	△294
投資有価証券の取得による支出	—	△1,519
短期貸付金の純増減額(△は増加)	—	△149
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,123	△2,520
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	6,290	2,565
長期借入れによる収入	1,000	1,500
長期借入金の返済による支出	△3,322	△3,170
配当金の支払額	△665	△696
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△121	△134
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,181	65
現金及び現金同等物に係る換算差額	62	255
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,704	2,434
現金及び現金同等物の期首残高	8,454	6,750
現金及び現金同等物の期末残高	6,750	9,184

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を判断するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に射出成形機及びその関連機器の製造販売をしており、国内においては当社が、また海外においては各地域の現地法人が、それぞれ独立した経営単位として包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

報告セグメントのうち、日本においては当社が射出成形機及び関連機器の仕入・製造・販売を行っており、欧米地域においてはNISSEI AMERICA, INC. その他の現地法人が製品の販売を担当し、NEGRI BOSSI S.P.A. は、射出成形機及び関連機器の仕入・製造・販売を担当しております。また、アジア地域においては、中国及びタイの生産子会社が射出成形機の製造を行っているほか、各現地法人が製品の販売を担当しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されているセグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。また、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であり、セグメント間の内部収益および振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	欧米地域	アジア地域			
売上高						
外部顧客への売上高	15,785	18,643	13,064	47,493	—	47,493
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19,437	628	12,787	32,853	△32,853	—
計	35,223	19,271	25,852	80,347	△32,853	47,493
セグメント利益又は損失 (△)	382	△188	381	574	△132	442
セグメント資産	49,828	31,159	20,051	101,039	△14,559	86,479
その他の項目						
減価償却費	1,039	481	281	1,802	—	1,802
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	392	795	1,050	2,238	△776	1,462

(注) 1 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△132百万円及びセグメント資産の調整額△14,559百万円は、セグメント間取引の消去によるものであります。

2 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	欧米地域	アジア地域			
売上高						
外部顧客への売上高	14,184	19,091	13,497	46,774	—	46,774
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20,162	206	10,286	30,655	△30,655	—
計	34,346	19,298	23,784	77,429	△30,655	46,774
セグメント利益又は損失 (△)	△1,210	△613	208	△1,615	47	△1,568
セグメント資産	51,807	30,623	20,687	103,118	△17,355	85,763
その他の項目						
減価償却費	921	421	391	1,733	—	1,733
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	421	377	135	934	—	934

(注) 1 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額47百万円及びセグメント資産の調整額△17,355百万円は、セグメント間取引の消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービス区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%超であるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位: 百万円)

日本	欧米地域	アジア地域	合計
15,785	18,643	13,064	47,493

1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 「欧米」及び「アジア」については、一区分として管理しており、国ごとの金額の記載はしていません。

(2) 有形固定資産

(単位: 百万円)

日本	欧米地域		アジア地域	合計
	アメリカ	その他		
8,701	5,398	1,762	4,707	20,536

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービス区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%超であるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧米地域	アジア地域	合計
14,184	19,091	13,497	46,774

1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
2. 「欧米」及び「アジア」については、一区分として管理しており、国ごとの金額の記載はしていません。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	欧米地域		アジア地域	合計
	アメリカ	その他		
8,769	5,392	1,664	4,645	20,471

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	2,166.60円	2,117.28円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	3.98円	△89.62円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	3.92円	—

(注) 1 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

- 2 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため、記載していません。

項目	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	41,896	40,984
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	219	256
(うち新株予約権)	(217)	(254)
(うち非支配株主持分)	(1)	(1)
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	41,677	40,728

項目	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	19,236,345	19,236,345

- 3 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	76	△1,724
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	76	△1,724
普通株式の期中平均株式数(株)	19,186,645	19,236,345
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	336,871	332,545
(うち新株予約権)(株)	(336,871)	(332,545)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。